

事務局だより 第67号

発行日:平成29年4月15日

◎ 今年も、「こいのぼり」が泳ぎはじめました———。

4月2日 塩吹区の壮年会の方、女性部の方をはじめ区あげて「こいのぼり」を揚げてくれました。菜の花と唐泉山のコントラスト……。最高な眺めです。早速、親子連れのご家族が立ち寄り写真撮影またこいのぼりと遊んでおられました。……。今年も、行き来する人のオアシスになることを願い、勇壮に泳いでくれるでしょう。ここの「こいのぼり」は触れる事ができるように、わざと低くしてあります。(4月中)



●不法投棄禁止立て札(宮型)設置

最近、県道・市道などへのポリ袋ごとの投棄が目立ちます。良心が疑われますねー。絶対にポイ捨ては止めましょう。

環境整備部会では、ポイ捨て皆無を願い、校区内数カ所に、頑丈な立て札を立てました。(3月24日)



3月5日

健康ウォーキングと歴史散策を行いました

今回は、塩田公民館から久間・中通りの八幡神社まで下野辺田から林道を通り、牛坂に出て、帰りは上久間の市道を歩く5kmの往復コースで行いました。当日は諸行事が山積み参加者は32名でしたが、八幡神社では、井上誠治先生より八幡神社に関する色々の説明をして頂き、大変勉強になりました。お供日等は、丹生神社の馬場宮司が勤められています。とても有意義な日となりました。公民館に帰着後は、今年「男の料理教室」で習得された男性陣が腕をふるって作ってくれました郷土料理を美味しく戴き、解散になりました。



熊本県大津町 室仮設住宅への慰問活動



耕作放棄地有効活用委員会では、4月2日（日）前日から準備して、当日は朝6時から当地で栽培、収穫した「塩田産ソバ」を食べ



てもらおう為にマイクロバス・ワゴン車で訪問しました。熊本では、地震後1年になりましたが、ここ大津町には仮設住宅が8箇所設けられていて、私達が訪問したのは「室」仮設住宅でした。33戸120人の被災された方

がいらっしやいました。しかも、周囲にはまだブルーシートで覆われた家屋も多くみられます。自然災害の恐ろしさを改めて感じました。今回は、大津町被災者支え合いセンターのお世話でした。現地でもソバ打ちをし、うちたてのソバを井で全部で153杯!! 大津町の町長、社会福祉協議会の会長も来て頂きました。塩田産温ソバは、大好評でした。あるおばあちゃんの話では、昔は熊本も“ソバをつくり良く食べた”“仮設は2年間であるが帰るところがなく不安だ”等とお話をされました。ソバの提供ができたのは勿論ですが、被災された方々との交流ができたことも大きな収穫でした。『お互いに助け合う心』・・・最も大事な事です。日頃からの隣近所とのお付き合いの大切さも学んだ訪問でした。



畦川内老人会へのソバの振る舞い



3月15日 「塩田蕎麦の会」により、畦川内老人会の方にソバを試食して頂きました。

※ このソバは、コミュニティ設立時のアンケートにより、皆さん方からいただいた要望事項で田・畑の荒廃地解消の一環として栽培しているものです。28年度は約6反の田畑で栽培しました。

お知らせコーナー

4月 5月の行事予定

4月 7日 平成28年度 会計監査

10日 役員会

11日 塩田小学校入学式・第1回運動会実行委員会・役員推薦会議

19日 運営委員会

26日 第6回 コミュニティ定期総会

5月 18日 第2回 運動会実行委員会

28日 第11回 塩田小学校区 運動会